

赤平小と金足東小が3月閉校

小さな学校の思い出

3月いっぱいまで閉校する赤平小学校と金足東小学校。山あいの小さな学校は、卒業生はもちろん、地域のみなさんにも大きな、そしてあたたかい思い出を残してくれました。

赤平小学校

新たなスタートに



赤平小学校閉校記念事業実行委員会委員長

菅原正人さん

赤平小学校には語り切れないほど

たくさん思い出があります。まきストープに弁当を乗せて温めた時のにおい、運動会のために大張野までみんなで歩いて行ったこと、新しい校舎に移ったこと、友だちと缶けりやパッチ(めんこ)、ビー玉で遊んだこと、まだ動物園があったころの千秋公園に遠足に行ったこと…。

赤平小学校は、学校とPTA、地域が一体となって守り支えてきました。昭和48年の豪雪時の雪かきも、運動会前のグラウンド整備も地域が協力して行いました。地域の中にとけ込んだ学校がなくなり、子どもた

ちの声が聞こえなくなるのはとても寂しいです。しかし、これを新たなスタートとして地域を盛り上げていかなければと思っています。春から河辺小学校へ通う子どもたちには、赤平小学校にいた時の気持ちを忘れないで、校歌にもある「はつらつ進む若鮎」のように元気に育ってほしいですね。

赤平小学校134年の歩み

明治8年	高岡小学校という名前で、和田小学校の分教室として設立
明治25年	赤平尋常小学校として和田小学校から独立
明治26年	二代目の校舎建築
昭和30年	三代目の校舎の6教室が完成
昭和44年	センター方式による給食実施
昭和48年	複式授業始まる
昭和55年	体育館完成
昭和61年	現在の校舎が完成



写真 右上／赤平小と河辺小の交流授業 右下／菅原正人さん(赤平小で)
左上／齊藤雅人さん(金足東小で) 左下／金足東小と下新城小の交流授業



4月から河辺小学校と統合する赤平小学校。子どもたち21人は、赤平での思い出を胸に、春から新しい生活を始めます。



金足東小学校は4月から下新城小学校と統合します。現在の児童数は12人。4月6日の始業式からスクールバスで通います。

赤平小学校は134年、金足東小学校は135年と、長い歴史を持つ両校。寂しい気持ちもありますが、子どもたちの新しい旅立ちを見守っていきましよう。



金足東小学校

感謝の気持ちを
忘れずに



金足東小学校閉校事業
実行委員
齊藤雅人さん

祖父、父、自分、そして私の子どもたちも金足東小学校に通っていました。母校がなくなってしまうのは本当に寂しいです。

学校の周りは、田んぼや山、沼など自然に囲まれています。子どもころ、近くの沼で釣りをしたこと、学校裏の山でスキーをしたこと、黒川油田の近くの広場までみんななべっこ遠足に行ったことなどを懐かしく思い出します。先生が勉強を丁寧に教えてくれたり、上級生が下級生のめんどうを見たり、少人数の学校ならではの良い面もたくさんありました。

金足東小学校は地域とのつながりがとても強い学校で、いろいろなか

たが学校とともに歩んできました。私も卒業してからスポーツ少年団で子どもたちと一緒に剣道をしています。また、PTAとしても学校と一緒に頑張ってきました。

春から下新城小学校へ行く子どもたちには、今まで支えてくれた地域の人たちへの感謝の気持ちを忘れずに、また、これから出会う人たちへの感謝も忘れずに、どんなことにも頑張っしてほしいです。

金足東小学校135年の歩み

明治8年	吉田村に吉田学校設立
明治16年	片田村山崎に移転し高岡尋常小学校吉田分校と改称
明治22年	片田簡易小学校と改称
明治25年	片田字待入に移転増築
明治27年	片田尋常小学校と改称
明治38年	高等科併置・片田尋常高等小学校と改称
明治40年	片田字刈又に移転増築
明治41年	金足東尋常小学校と改称
昭和22年	金足東小学校と改称
昭和29年	現在の場所に校舎を移転改築。校歌を制定
昭和61年	現在の校舎が完成

戸島保育所と 河辺中央保育所が 統合します

戸島保育所は昭和53年4月に創立され、創立から今年で32年です。また、河辺中央保育所は昭和49年6月に創立、今年で36年になります。

この2つの保育所は園舎の老朽化などにより4月に統合し、現在、河辺総合福祉交流センターの隣に建設している定員150人の河辺保育所になります。

新しくできる大きな園舎で子どもたちが元気に遊び、のびのび育つてほしいですね。



戸島保育所 年中・りんご組